



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 三井金属エンジニアリング株式会社
コード番号 1737 URL <http://www.mesco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住 伸一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 木原 基廣

TEL 03-5610-7833

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,857	△11.8	572	84.6	636	77.8	363	57.0
24年3月期第3四半期	16,846	28.7	310	—	358	—	231	—

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 436百万円 (253.4%) 24年3月期第3四半期 123百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28.44	—
24年3月期第3四半期	18.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,376	—	9,644	—	—	58.9
24年3月期	17,439	—	9,527	—	—	54.6

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 9,644百万円 24年3月期 9,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25.00	25.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	△6.8	770	△33.4	830	△31.9	430	△36.1	33.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	12,780,000 株	24年3月期	12,780,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	3,260 株	24年3月期	3,260 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	12,776,740 株	24年3月期3Q	12,776,740 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月15日に公表しました連結業績予想から、修正しておりません。

2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく変わる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつありますが、欧州危機や、中国経済等の世界景気の減速等を背景として弱い動きとなっており、先行き不透明な状況で推移しました。

建設業界におきましては、民間設備投資の緩やかな回復もあり底堅く推移しているものの、受注における激しい価格競争が継続するなど、予断出来ない経営環境にありました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当企業集団の売上高は 14,857百万円（前年同四半期比 11.8%減）となりました。

損益面では、工事原価、及び、販売費及び一般管理費の削減などから、営業利益は572百万円（前年同四半期比 84.6%増）、経常利益は 636百万円（前年同四半期比 77.8%増）、四半期純利益は 363百万円（前年同四半期比 57.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

・エンジニアリング事業

国内の非鉄金属関連工事の受注高が減少したことなどにより、売上高は 10,404百万円（前年同四半期比 24.4%減）となりました。

また、経常利益は 501百万円（前年同期比 33.2%減）となりました。

・パイプ・素材事業

パイプ部門において、新幹線融雪用配管、トンネル用消火配管等の大型案件の進行基準による完成増などがあり、売上高は 4,569百万円（前年同四半期比 39.9%増）となりました。

また、経常利益は 570百万円（前年同期比 2,454.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して、受取手形・完成工事未収入金等が 1,205百万円減少したことなどにより、1,062百万円減少の 16,376百万円となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等が 1,092百万円減少したことなどにより、1,180百万円減少の 6,732百万円となり、また、純資産は 117百万円増加の 9,644百万円となりました。

この結果、自己資本比率は 58.9%となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、借入金等の有利子負債はありません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月15日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,537,268	1,687,460
受取手形・完成工事未収入金等	6,906,065	5,700,802
未成工事支出金	799,523	2,284,947
商品及び製品	179,309	278,951
材料貯蔵品	246,990	360,436
預け金	4,938,743	3,279,336
繰延税金資産	256,640	247,764
その他	248,356	236,922
貸倒引当金	△1,991	△1,482
流動資産合計	15,110,905	14,075,138
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	473,590	474,124
機械・運搬具	1,624,906	1,679,958
工具器具・備品	871,928	865,163
土地	1,099,000	1,099,000
リース資産	5,443	5,443
建設仮勘定	137,798	122,754
減価償却累計額	△2,608,508	△2,661,359
有形固定資産合計	1,604,159	1,585,084
無形固定資産		
ソフトウェア	83,003	66,629
その他	8,222	8,166
無形固定資産合計	91,226	74,796
投資その他の資産		
投資有価証券	53,462	53,265
繰延税金資産	393,155	384,120
その他	200,746	223,729
貸倒引当金	△14,265	△19,308
投資その他の資産合計	633,099	641,807
固定資産合計	2,328,484	2,301,687
資産合計	17,439,390	16,376,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,912,791	3,820,451
未払法人税等	361,815	224,355
未成工事受入金	328,528	888,997
賞与引当金	342,600	165,000
役員賞与引当金	26,000	—
完成工事補償引当金	110,100	111,500
工事損失引当金	82,600	50,000
その他	362,936	207,029
流動負債合計	6,527,371	5,467,333
固定負債		
退職給付引当金	1,268,466	1,175,400
役員退職慰労引当金	92,620	67,815
繰延税金負債	260	269
その他	23,358	21,238
固定負債合計	1,384,704	1,264,722
負債合計	7,912,076	6,732,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,350	1,085,350
資本剰余金	684,400	684,400
利益剰余金	8,198,621	8,242,617
自己株式	△2,083	△2,083
株主資本合計	9,966,288	10,010,283
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	4,105	36,502
為替換算調整勘定	△443,080	△402,017
その他の包括利益累計額合計	△438,974	△365,514
純資産合計	9,527,313	9,644,768
負債純資産合計	17,439,390	16,376,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高		
完成工事高	15,088,951	13,005,828
兼業事業売上高	1,757,270	1,851,683
売上高合計	16,846,222	14,857,512
売上原価		
完成工事原価	13,276,966	11,063,641
兼業事業売上原価	1,469,752	1,475,199
売上原価合計	14,746,719	12,538,840
売上総利益		
完成工事総利益	1,811,985	1,942,187
兼業事業総利益	287,517	376,484
売上総利益合計	2,099,503	2,318,672
販売費及び一般管理費	1,789,368	1,746,108
営業利益	310,134	572,563
営業外収益		
受取利息	48,768	47,403
為替差益	—	8,875
雑収入	13,718	10,539
営業外収益合計	62,486	66,818
営業外費用		
支払利息	399	100
手形売却損	830	—
為替差損	2,474	—
持分法による投資損失	5,862	1,283
貸貸収入原価	4,435	868
雑支出	583	696
営業外費用合計	14,585	2,948
経常利益	358,035	636,434
特別利益		
固定資産売却益	282	650
特別利益合計	282	650
特別損失		
固定資産除却損	447	33,807
会員権評価損	349	2,092
特別損失合計	797	35,900
税金等調整前四半期純利益	357,521	601,183
法人税等	125,982	237,769
少数株主損益調整前四半期純利益	231,539	363,413
四半期純利益	231,539	363,413

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	231,539	363,413
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	164	32,397
為替換算調整勘定	△101,809	39,975
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,262	1,086
その他の包括利益合計	△107,908	73,459
四半期包括利益	123,630	436,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,630	436,873

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	13,730,612	3,115,609	16,846,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,277	151,571	174,849
計	13,753,890	3,267,181	17,021,071
セグメント利益	749,657	22,318	771,976

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	771,976
全社費用（注）	△413,940
四半期連結損益計算書の経常利益	358,035

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	10,397,802	4,459,710	14,857,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,610	109,445	116,056
計	10,404,412	4,569,156	14,973,569
セグメント利益	501,103	570,035	1,071,138

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,071,138
全社費用（注）	△434,704
四半期連結損益計算書の経常利益	636,434

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、エンジニアリング事業部の素材営業部とパイプ事業部を統合する事により、販売網の共有等を図りシナジー効果による営業力強化、及び、人員及び業務の効率化を図ることを目的とした会社組織の変更を行いましたので、報告セグメントを従来の「エンジニアリング事業」及び「パイプ事業」から、「エンジニアリング事業」及び「パイプ・素材事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当企業集団では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

② 受注実績

第1四半期連結会計期間より、「3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報等」に記載のとおり、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
エンジニアリング事業	10,702,065	74.6	6,835,558	80.7
パイプ・素材事業	5,524,128	122.5	3,285,310	131.7
セグメント間の内部売上高又は振替高	△40,162	—	△106,958	—
合計	16,186,031	86.1	10,013,909	93.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 売上実績

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

セグメントの名称	売上高（千円）	前年同四半期比（%）
エンジニアリング事業	10,404,412	75.6
パイプ・素材事業	4,569,156	139.9
セグメント間の内部売上高又は振替高	△116,056	—
合計	14,857,512	88.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。